

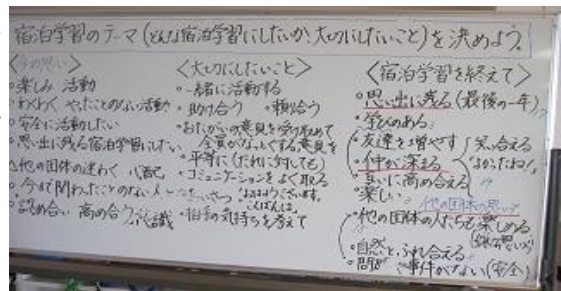


6年宿泊学習 ～能登青少年交流の家～

7月12日（水）と13日（木）の一泊二日で、6年生の宿泊学習に行ってきました。富山県内でも梅雨前線のために大雨だったように、能登もあいにくの天候でした。ただそれほど大変な大雨ではありませんでした。

宿泊学習の目当ては『心で深くつながり合う仲間に高め合おう ～認め合う、コミュニケーション、礼儀～』でした。これは担任と子供たちが話し合って決めたものです。

右は、6月下旬に校内を巡回していたときに、6年フロアでホワイトボードを見付け、こっそり？写真に撮ってきたものです。そこには、「楽しみ」「思い出に残る宿泊学習にしたい」「挨拶をする」「友達を増やす、仲を深める」「他の団体のことも考えて行動する」など、子供たちの気持ちが書かれていました。意見



を出し合った後、学年としての目当てに集約していったのでしょうか。何か大きなことに取り組む前には、子供たちと話し合って目当てを決める。終わったら、振り返り、次に生かす。これは、6年生、いや福野小学校のどの学年でも大事にしていることです。私は初めて福野小学校に来たときから、よいことだと思っています。

初日の活動は、入所式の後、予定どおりの館内オリエンテーリングから始まりました。このオリエンテーリング、館内だからといってバカにはしてはいけません。私でさえ5000歩程歩いたので、子供たちはもっと歩いているでしょう。難易度もなかなかです。20個の写真にある場所を見付け、館内地図に記入していくものです。とにかく簡単には見付きません。例え、見付けられたとしても地図に記入するとき正しく地図が読み取れていないと間違いになります。ちなみに福野小学校17ある班の平均点は、200点満点中136.2点（最高点180点）でした。午後の活動は、クラフト体験（マイスプーン・フォーク作り、てん刻）でした。本来ならば、野外体験活動（カッター、いかだ、サイクリング）でした。子供たちも楽しみにしていた



と思いますし、活動前は晴れていたもので、何とかできないかなとも考えましたが、所の方と相談し、安全第一でいこうということで雨天プログラムとなりました。夕方のフレッシュタイムでは、金沢市内の小学校2校とミャンマー・ベトナムからの団体、計3団体と交流しました。夜の活動は、キャンドルセレモニーでした。これもキャンプファイヤーを経験させたかったところでしたが、この時間帯は雨だったので仕方ありません。でも、各学級からの出し物に大いに盛り上がりました。

2日目は天候を全く気にしなくてもよい日となりました。2日目の活動は、野外炊飯（カレーライス作り）でした。5年生のときは砺波で焼きそばを作っています。カ

レーライスでは、カレーとご飯の2品を作らなければいけません。焼きそばは炒めればそれでよしですが、カレーは具材が柔らかくなったか？ご飯が炊けるタイミングは？など、考えなければいけないことがたくさんあります。昨年よりもレベルアップが必要です。さて、この後、学校到着時刻が1時間程遅れることとなります。確かに土砂崩れ等で迂回して帰ってこなければいけなかったこともあったのですが、根本的な遅れの原因はこの野外炊飯にありました。その中でも“かまど担当”に問題がありました。なかなか火が着かない、火が着いても消える。雨で薪が湿っていたからでしょうか、私も長年の経験から自信はあったのですが、かまどの担当の一人として責任を感じました。子供に任せている場合ではないとも思い？真剣でした。2時間程、しゃがんだまま煙にいぶされ疲れました。でも、子供たちとの協働作業が本当に楽しかったです。他の係はどんな状態だったのか？各班のカレーは上手くできたのか？は全く分かりませんが、私が食べた1班のカレーは大変おいしかったです。どの子供たちも笑顔でしたから、上手くカレーライスが作れたものと思います。



◇◇◇ ◇◇◇ ◇◇◇ ◇◇◇ ◇◇◇ ◇◇◇ ◇◇◇

概ねこのような宿泊学習でした。子供たちは一人一役の仕事に責任をもって取り組んでいました。いろいろな子供が代わる代わる代表の挨拶や司会をしたり、目当てや振り返りの言葉を発表したりしている姿が印象的でした。雨天プログラムになったことは残念でしたが、子供たちには楽しく思い出に残る宿泊学習になったと思います。「楽しかった」「疲れた」で終わらないように、「仲間や時間を意識して行動した」という気持ちを今後の学校生活にも生かしてほしいと思います。

また、今年の宿泊学習の場所を決めるにあたり、活動プログラムが多いという理由で能登を選びました。私は「アーチェリーやディスクゴルフなら多少の雨でもできるのに」と言うのと、「アーチェリーやディスクゴルフは個人種目です。一人ではなく協働してできる種目をさせたかったのだ」という言葉が学年担任から返ってきました。目当てにあるように『仲間意識を高めてほしい』という願いが学年担任に強くあったことに感服しました。



余談ですが・・・

宿泊学習中に、私が30代のときに受け持った教育実習生と出会いました。顔を見た時に「似ている！」と思ったのですが、他人の空似ということもあります。夕食の時に思い切って「違っていたらごめんなさい。〇〇先生ですか？」と話しかけてみました。言い終わるや否や、「やっぱり曲師先生ですよ。お見かけした時にそうかなと思ったのですが、たくさんいる教育実習生の中で、私のことを覚えていらっしゃるなんて思い・・・」と言われました。実際、教育実習生は100人程受け持ったので、すぐに名前が出てきて私もほっとしました。今は金沢市内の小学校で研究主任として活躍しているという話を聞かせてもらって、大変うれしく思いました。

教員にとって、自分が関わった人の活躍や成長の話聞くのが、本当にうれしいものです。子供は数年経てば顔も体型も変わりますし、担任であればまだしも隣の学級だった、同じ学年だったと言われると必ずしも覚えているか自信はありませんが、今後、どこかで出会ったら声をかけて、近況や思いを聞かせてほしいなと思います。

(校長 曲師政隆)